

紅緑編「滑稽俳句集」を読み解く 11

2010.04.20 (聞き手 高橋素子)

高橋 会長が紙魚の出て来そうな古い書物をやっと手に
入れられて「この貴重な本を読破しましょう」と
おしゃってびっくりさせられたのがつい先日のよ
うに・・明治四十三年発刊のこの古書・紅緑編
「滑稽俳句集」の読み解きも今回で二桁めに突入
と言う事に・・。
これまで面白く楽しくいろいろご教授戴いて、ま
るで四月に一年進級させて戴いた様な嬉しい気持
でいっぱいです。(笑い)

「新しい気持で読むや紙魚の古書」ですね。

会長

毎回なにか発見があります。滑稽句の本質に迫
る旅を私たちは 読者のみなさんと一緒にしてい
るわけです。
私たちの驚きや不思議が読者に伝わればよろしい
ですね。

高橋 それでは、本日もよろしくご教授下さいね。春の
人事の部季語は「畑打」、其角の句からですよ。

☆ 影法師は餘所の田を打夕日哉 其角

☆ 棒切で突つついて置く畑哉 一茶

「畑打」は畑の土を掘り返す事ですね。ご説明下
さいね。

影法師は餘所の田を打夕日哉 其角

会長

田も畑も昔は小さな区画でしたから、畑打ちをしている影法師は 隣の田畑に写ることがある。自分の畑打ちが・隣の人がしているように見えることに気づいたのです。

☆ **足と鍬三本洗ふ田打哉** 也有

足が二本 もう一本は大根です。小川の縁に腰掛けて あれれ三本だと可笑しがっているのですね。

☆ **棒切で突つついて置く畑哉** 一茶

畑仕事を思い切り怠惰にやるとこうなるのですね。田打は 力仕事ですから鍬をふりかぶって思い切り打ち下ろす・・それを怠けて棒切れで突つく程度・・お百姓としては落第の自身を笑っているのです。

高橋 「畑打」の句続けますね。太閤秀吉の出自は学術的にははっきりしてなくて、百姓とも山の民ともその他にもいろいろ言われているようですが・・ご解説くださいね。

☆ **太閤と友達なりし田打かな** 麦匍

☆ **畑打や太閤様も死んだげな** 紫影

☆ **畑打の屁ひりし顔もせざりけり** 圭虫

☆ **太閤と友達なりし田打かな** 麦匍

会長

これは太閤の出自が百姓だということを前提にしたいと思いますね。

☆ **畑打や太閤様も死んだげな** 紫影

秀吉公が百姓・・庶民の出だということが一般的によく知られていて 庶民はそのことに親近感をもっていたことがわかりますね。

一方で・・簡単には死なない強いお方だという認識もあったのでしょうか。その太閤様が死んだというのは大変なニュースで一句に読んで置かねばということですね。

☆ 畑打の屁ひりし顔もせざりけり 圭虫

畑打ちは 単純労働ながらも集中していなければ力が入りません 力を入れると「屁」が出ることもあるわけですが そんなことは気にもならないことなのです。知らん振りではなく・・

高橋 知らない人には滑稽に見えることも、田打をする人にとっては、これは取り上げて笑う様な事ではなく、日常の姿だという事ですね。次は春の部人事、最後の季語「涅槃」です。

☆ 涅槃像尊とかりけり煤けけり 鳴雪

会長 奉りつづけた涅槃像が煤けてしまったので引退してもらったことになったのです。それにしても「思い切り煤けたもんだ」ということですね。

高橋 成る程！有難うございます。
それでは、いよいよ春の最後の部門「詠物」に参ります。
「えいぶつ」は物の名を題として詠じ、また、歴史上の事実を詠ずる詩歌の一体と広辞苑に説明してありますが、前書き、言葉書きを付けて句を詠んでいるようですね。
では、具体的に一茶の句の場合からはじめますね。

去年の五月生れたる娘に一人前の雑煮膳を据ゑ

☆ 這へ笑へ二つになるそ今朝からは 一茶

還曆

☆ 春立つや愚のうへにまた愚にかえる 一茶

両句とも一茶らしい句ですね。ご説明下さいね。

☆ 這へ笑へ二つになるそ今朝からは 一茶

会長

晩婚でしたからかも、やっと生まれた子が二歳になる・・・数え年ですから正月の句です。人目も憚らずに慈しむ一茶の「親馬鹿」が可笑しいですね。

還曆

☆ 春立つや愚のうへにまた愚にかえる

俳句は自身を笑うものです。還曆はゼロ歳になるわけですが 元来が愚な自分がゼロ歳になったら どうなるんだ。と開きなおっています。と同時に立春というめでたい季語で裏切り構成なのです。一茶にしてこういう構成が巧まずに出来たということでしょう。

高橋 続いて参りますね。

月尋が妻にわかれし悼

☆ 春の夜の枕嗅やら目が腫れた 鬼貫

題按摩取

☆ 春雨や化物はなし錢五十 成美

私に思ふ古白未死

☆ 永き日を君欠けでもしてゐるか 虚子

古白とは子規の母方の従弟「藤野古白」だと教えて戴きましたね。古白は子規に俳句を師事するも文学的には子規とソリがあわず23歳でピストル自殺をしたそうですね。

その事で返って自殺の惨たらしさを知り、病苦に苦しむ子規には自殺の誘惑に苦しみなながらも、自殺という選択肢は在り得なかったそうですよ。

月尋が妻にわかれし悼

会長

☆ 春の夜の枕嗅やら目が腫れた 鬼貫

お通夜の情景とお考えください。

目が腫れた・・泣きじゃくった結果です

枕嗅・・故人の嗅いですね。かなりの修羅場ですが「さらり」と詠んでいます。

春の夜という艶かしい雰囲気も加わってドラマを見るようですね。通夜という厳粛な雰囲気が句によって裏切られている可笑しさそこに注目したいと思います。

題按摩取

☆ 春雨や化物はなし錢五十 成美

化け物話・・・ですね按摩さんに、代金をはらうときに 五十銭はらったのでしょ。按摩代にプラスして「化け物」の話への謝礼なんです。それほどに話上手なんですね。お客さんすみませんねえ。もうちょっと弾んでくれば本当に化けてみせますが・・・おいおい 止めておくれよ・・・なんて会話があったと思いますよ

私に思ふ古白未死

☆ 永き日を君欠けでもしてゐるか 虚子

死んだということが未だに信じられない・句会に君がいないのは今日だけの欠席だと思いたい・・・ということですね。承知していながら知らない振りをする可笑しさですね

又、一茶の詠物が出てきましたよ。

高橋

不忍の池に亀どもの菓子をねだるあり
さまを見るに此節娑婆に萬年の逗留も
ならん

☆ 春の日を喰ふや喰ずや池の亀 一茶

春の日を喰ふや喰ずや池の亀 一茶

会長

池の亀がひもじい思いをしていることに同情していますね。鶴は専念 亀は万年その万年の長生きは出来ないだろう。
と 世知辛い時代を亀のために嘆いている常に弱い生き物と共感して句を詠んだ一茶らしい句です。

次は、紅緑の詠物が続きますよ。ご説明下さいね。

高橋

題布袋圖

☆ 永き日を唐兒は何処へ行たやら 紅線

一年病に臥してけふはと思ひたりし日に

☆ 永き日を飯食ひ飽きて死ぬる哉 紅線

とよめりしが今に思へばえうなきことなりとて

☆ 飯食ふて生き残りたる日永哉

☆ 永き日を唐兒は何処へ行たやら 紅線

会長

布袋の図・・・掛け軸に描かれている布袋様を見ていて「唐子(からこ)」が描かれていないことに気がついたので。

☆ 永き日を飯食ひ飽きて死ぬる哉 紅線

永いこと思っやと床から立ち上がることが出来た。医師の「食事制限」も解除されてこれで思い切り飯が食えるぞ、食いすぎて死んでもかまわん・・・と冗談言ってるわけです。

とよめりしが今に思へばえうなきことなりとて

☆ 飯食ふて生き残りたる日永哉

これは思いなおして・・・生き残ってしまった
これで良かったのだと・・・

高 成る程！面白いですね。次は蕪村！続けてご説明
橋 下さいね。

箒の賛

☆行春の尻へた掃ふ落花かな 蕪村

☆行春の尻へた掃ふ落花かな 蕪村

会長

掃ふ・・・は「はらあ」と読むのでしょうか。

「行春」を擬人化していますね。落花は春の終わりの季語。落花を履いていると箒が跳ねる感じになったのです。その箒は行春の「尻っぺた」をはたいているわけです。

高橋 箒が行春のお尻を掃ふ・・・流石蕪村、面白い発想
ですね。次の詠物は素堂。
長々と前書きがありますよ。

うつぶし染めといふ書をして西吟がはいくわいの
版行やみなんとて発句望みしほどに

☆それをだにそなたも春を惜まずや 素堂

正月廿五日北野の御社へ奉納すとて柳水所望

☆梅をしる心もおのれ鼻もおのれ 素堂

山口素堂は漢詩に長じ学者であり、蕉風の成立に
影響したと言われ、芭蕉の友人である江戸中期の
俳人ですね。ご説明下さいね。

☆それをだにそなたも春を惜まずや 素堂

会長

西吟のリクエストにその場で応えるというのがすごいですね。うつぶし染めは「うつぶし」という木につく虫で染めた黒い麻の衣のことらしいですね。

ところが「書」してとありますから 墨汁がわりに使ったものでしょう。版行やみなんとて・・・は「俳諧の出版が終了する」にあたり・・・ということですね。

だからこと あなたも春を惜しみなさい・・・出版終了なんて些細なことですよ。と笑ってみせるわけなんです。

☆ 梅をしる心もおのれ鼻もおのれ 素堂

知る心・・・俳句に詠む精神性ですね

「鼻」も・・・はそういう自分が鼻で梅の香を確かめている。生理性というますか・眼動物的といえますか ともに自身なんだと・・・二面をもっていることの可笑しさですね。

高橋 成る程！そうなんですね。？次の詠物は蕪村ですよ。

あらむかしのかな遣ひかな
字義に害あらずんばアアままよ

☆ 梅さきぬどれがむめやらうめじややら 蕪村

むめとうめ・・・どちらも梅の意ですが・・・

☆ 梅さきぬどれがむめやらうめじややら

会長

仮名遣いに悩んだのでしょうか 昔は「むめ」

と書いたんですが、ままよろしいでしょう

梅の花は 昔風に咲いて「むめ」今風に咲いて「うめ」という感じで枝にあるのです。どれが「むめ」かどれが「うめ」かわかりません・と句にしたてたものです

高橋 成る程！そういう事ですか？次は、大江丸と也有の句ご説明お願い致しますね。

指書の梅に

☆ **いかに弁慶この梅にかく札は何と** 大江丸

席上自書の狂賛

☆ **此紙に筆を拭へば柳かな** 也有

☆ **いかに弁慶この梅にかく札は何と**

会長

指で描いた梅の絵を見て 旗と困ってしまった。指で書いてた梅は二セモノです・・季節感はありません。そうだ、勸進帳の弁慶に尋ねてみましょうか この梅を弁慶さんあなたならどんな詩に詠みますか・・ということですね

☆ **此紙に筆を拭へば柳かな** 也有

筆で絵を描いていたのです。うまくできない・・あきらめて 筆を仕舞うことにして、まずは紙で筆を拭ったところ 見事な柳の絵になった。なんだ、簡単に描けるじゃないか・・ということですよ

高橋 そういう事ですか？面白いですね。次は・

初瀬山

☆宿からん花にくれなば貫之の 素堂

初瀬山の麓に牡丹で有名な西国第八番長谷寺があり、このお寺の仁王門から本堂に続く登廊の傍らに古今集の歌人「紀貫之の故里の梅」が植えられています。この木の前の板に、紀貫之が久しぶりに初瀬詣に訪れた際、嫌味を言った宿の主人の心変わりに皮肉って詠んだ歌、「人はいさ心も知らず故里の花ぞ昔の香ににほひける」が書かれているようですよ。

会長 故事を知っていないとこの句の面白さがわからない・・・そういうことですか。花にくれなば・・・牡丹見物をしているといつの間にか、夕方になってしまいました。貫之が借りたと同じように宿を借りましょう。ということですね

高橋 故事を知って詠まれた句もまた、一興があり面白いですね。有難うございます。
それでは、「滑稽俳句集」春の部の詠物は、本日はここまでにさせて戴いて、最後に前に言葉書きを書かれた、会長の現代の詠物のお手本をお示し戴ければ・・・と思います。
最後に会長の詠物読ませて戴くの又一段と楽しみです。

会長 そうですねえ・・・遠州森町の大洞院で去る3月28日に石松没後百五十年大祭 墓前で虎造節を奉納しました。森町観光協会の招きを受けました・・・そのことを詠みましょうか

★ 石松の虎造睨む春うらら

ちゃんと良い天気でした。
ところがパラパラと雨・・・

★三味線の猫をいぢめる春時雨

曲師の一風亭初月さんがあわてましてね
三味線の皮は猫の皮で雨に弱い
・ ・ 破れると困る。
だから傘をさしてもらったんです。
ちょうど時間となりました。
ちょと一息願いまして またのご縁とお預かり
・ ・ ・ ♪

高橋 上手い!「虎造節保存会会長」流石ですね

(2010年4月号)